

# Dai com Press

東京農業大学第二高等学校 同窓会新聞 [だいこんプレス]

Vol.  
**26**  
2018

特集

## 農大二高の今

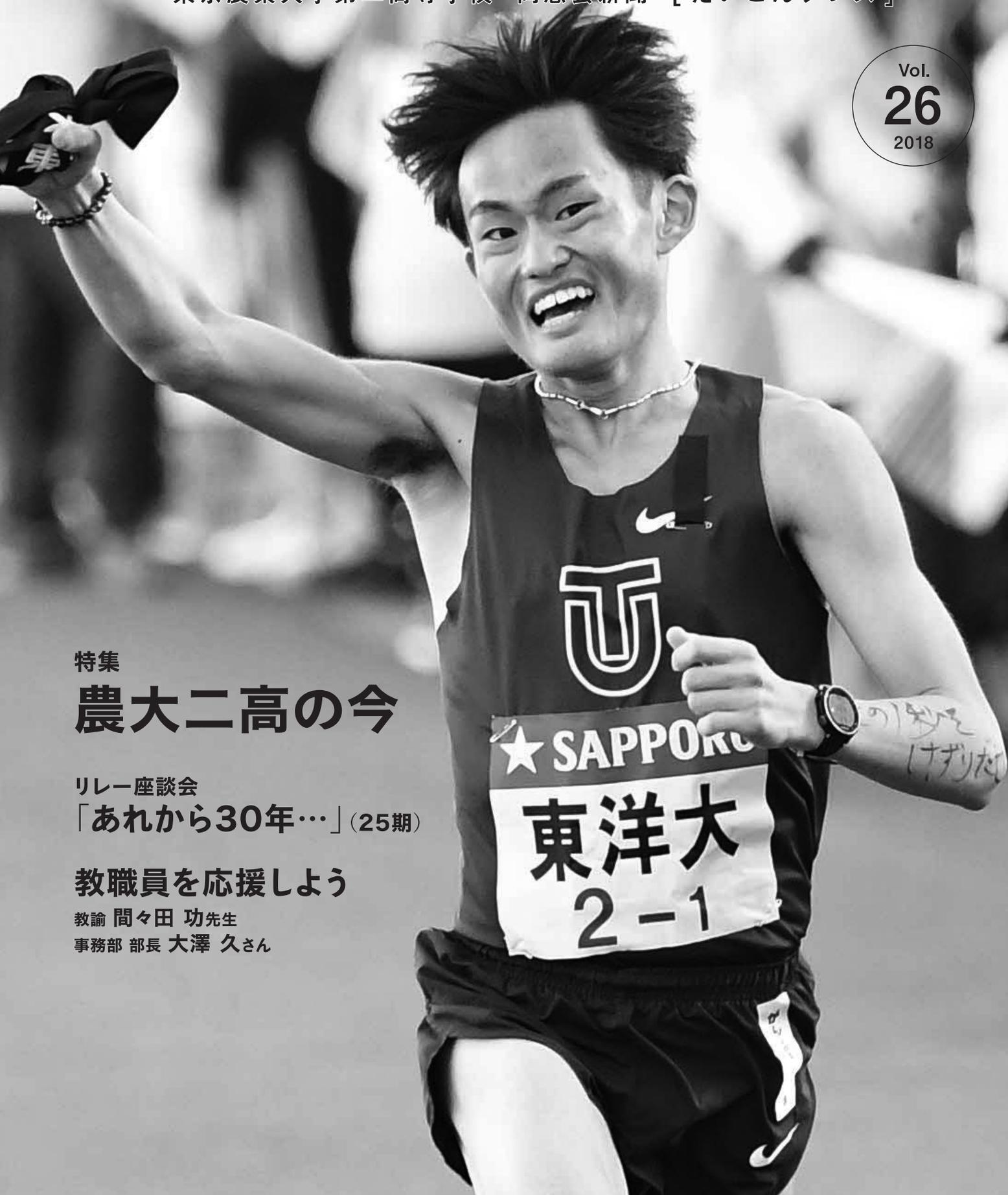
リレー座談会

「あれから30年…」(25期)

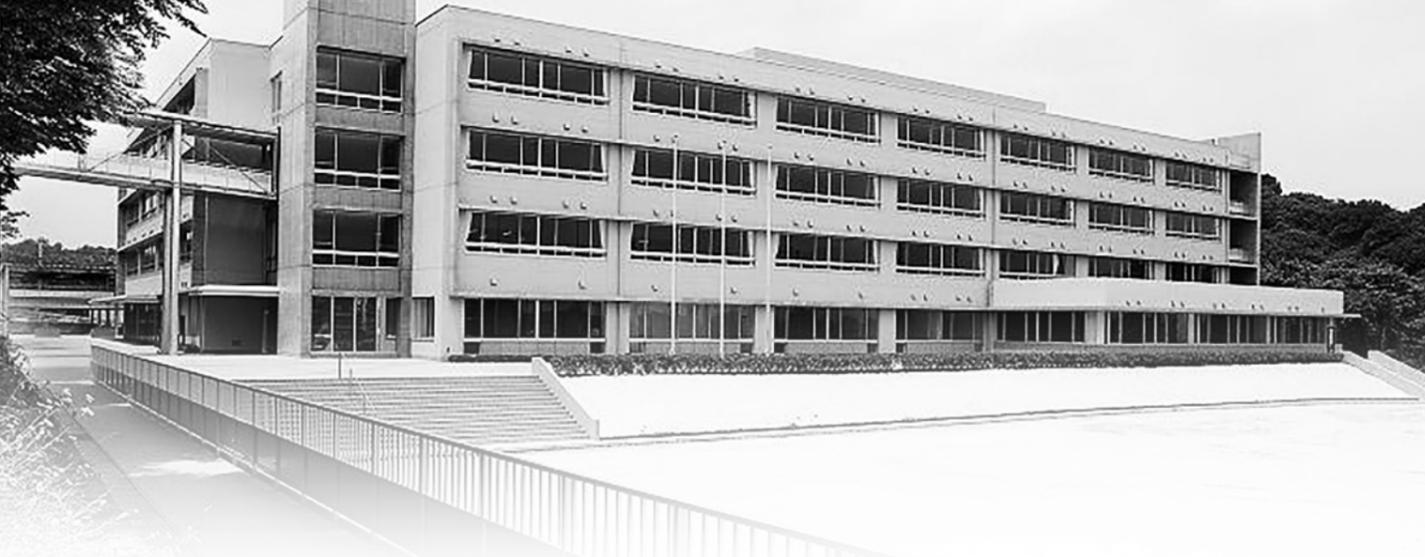
## 教職員を応援しよう

教諭 間々田 功先生

事務部 部長 大澤 久さん



# 特集 農大二高の今



## 希望進路別コース制導入後、初の受験世代

### ▶▶ 3コース制で個に応じたきめ細かい指導

平成27年度に導入された希望進路別コース制で農大二高は大きく変わりました。平成29年度(平成30年3月31日)は、制度を導入して初めての受験生を送り出しました。

「進学選抜コース」「発展／標準コース」「クラブ選抜コース」の3コースでは、3年間で志望校合格レベルまで学習を積み重ねることを目的に、各自の目標達成のためのカリキュラムが設定されています。また、学力ごとのクラス編成、習熟度別授業など、きめ細かい指導を行っています。

クラブ活動など、全国レベルを目指す生徒には、アスリート・アーティストとしての能力涵養と学力・人間力の向上にも力を入れています。

### ▶▶ 0限や放課後を使った進学講習を実施

Iコースの進学選抜コースでは、1限が始まる前の0限授業を週5日で実施して、早朝から学習に取り組む生活リズムを作っています。2年次以降は文理別となり、その時点での「生徒に合った適正な指導」を行うことで、生徒個々の勉強の理解を深め、着実に学力アップと成長を促していきます。

### I コース 進学選抜コース

- 1年 習熟度別にクラス編成
- 2年 文理別・習熟度別クラス編成
- 3年 入試科目に応じた演習中心の授業

#### 目標大学

- 最難関大学  
●東大・京大をはじめとする旧帝大  
●医学部医学科  
●早慶上理など

### II コース 発展・標準コース

- 1年 習熟度別に発展・標準クラス  
※2年進級時にIコースへの編入あり
- 2年 文理別・習熟度別クラス編成
- 3年 入試科目に応じた授業

#### 目標大学

- |           |           |
|-----------|-----------|
| [発展]      | [標準]      |
| ●難関国立大学   | ●地方国立大学   |
| ●GMARCH   | ●日東駒専     |
| ●東京農業大学など | ●東京農業大学など |

### III コース クラブ選抜コース

- 1年 習熟度別にクラス編成
- 2年 文系習熟度別クラス編成
- 3年 希望大学に応じた授業

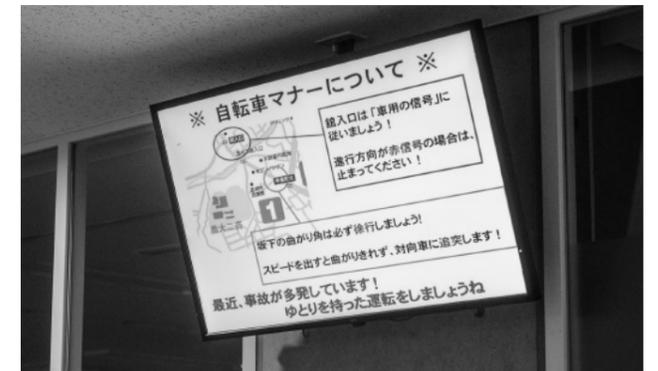
#### 目標大学

- |         |           |
|---------|-----------|
| ●国立大学   | ●東京農業大学   |
| ●GMARCH | ●東京情報大学など |
| ●中堅私立大学 |           |



## 校内にデジタルサイネージ設置

平成28年10月に生徒への情報伝達を目的としたデジタルサイネージが2基設置されました。モニターには図書室からのお知らせや年間行事予定表、生活指導室からの案内などが表示されています。紙による案内と違い、複数の情報を表示でき、動画も流せるため生徒への告知がしやすく、目につきやすいと好評です。



## 制服が一部変更

コシノヒロコデザインによる制服が一部変更になりました。平成28年度には冷房対策、防犯対策としてサマーベストが導入されました。色は白または紺から選べて、生徒の評判は良いようです。また、平成29年度には、女子のブレザーがシングルに変更になり、リボンも一新されました。



## 同窓会育英奨学生制度

東京農業大学第二高等学校同窓会は、人物、学業に優れた農大二高生であって経済的理由により修学が困難である生徒に対し学資の支援を行うとともに、社会に有為な人材を育成することを目的として育英奨学金を給付しています。

※家計が急変し緊急に奨学金受給の必要が生じた時に、随時申込を受け付けています。 ※各年度生徒より若干名です。



## 社会人講演会などの総合学習を充実

### 社会人講演会、リベラルアーツ講座などの講演会を実施

農大二高は、総合学習にも力を入れ、さまざまなプログラムやイベントを通じて、知的好奇心を刺激し、主体的に考える力、表現する力、行動する力を養っています。

社会人講演会やリベラルアーツ講座では、さまざまな分野で活躍する著名人を講師に招いて、生徒の興味や関心を広げることを目指しています。

昨年10月には、日本のドローン開発の先駆者であり卒業生でもあるTEAD(株)のCEO横山勉さん(20期生)を招いて、社会人講演会が開催されました。農業をはじめとする産業界でのドローンの可能性についてお話しいただきました。

また、昨年11月には、1学年リベラルアーツ講座が行われ、元日ハム1軍ヘッドコーチで野球解説者の阿井英二郎さん(19期生)を招いて、「心の成長を促すーセルフリーダーシップー」をテーマに講演をしていただきました。



横山勉さん(20期生)



阿井英二郎さん(19期生)

### エンパワーメントプログラム、異文化交流行事などの学びの場を提供

Iコースを対象としたエンパワーメントプログラムは、海外の大学生との交流を通して、一つの事柄に対し、多数の解釈が存在することを体感したり、自己判断と自己責任の大切さを考える機会を提供します。また、グローバルに生きることを意味を考え、自己を省みることができるきっかけとなる機会を提供しています。

また、IIコースを対象とした異文化交流行事では、立教・法政・群馬大学などに留学している外国人留学生を招き、他国の文化や価値観に触れ、異文化理解のきっかけを作る交流をします。昨年度は、アメリカ・ドイツ・ハンガリー・フランス・ブルガリア・中国・ベトナムなど18名の学生と多彩な交流が繰り広げられました。

### ビブリオバトルでプレゼン力を養う

ビブリオバトルでは、一人5分の持ち時間を最大限に使って一冊の本を紹介し、聞いた者が「一番読みたいと感じた本」を投票し、互いのプレゼンテーション能力を競い合います。表現する力、伝える力が自然と養われる行事です。

### 首都圏支部 新支部長 吉田さんからのメッセージ



東京を中心とする隣県に在住する同窓生の会として、3年に一度の総会懇親会を開催しています。最近では年配者が多くなりましたが、若い会員も増やしていきたいと思っています。ラグビー部OBでもあるので、ラグビー部出身の若い方たちを中心に声をかけしていきたいと思いますが、それ以外の方も是非奮ってご参加ください。

今年は大きな行事だけでなく、3か月に一度程度集まる機会を設けたいと思います。4月8日には本部役員の方にもご参加いただき、屋形船で花見を行う予定です。

支部長の任期は3年ですが、首都圏在住の皆様がつながる楽しい会にしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

支部長 吉田茂夫(2期生)

### ウェブサイトがリニューアル

同窓会のウェブサイトがリニューアルしました。新サイトでは農大二高全曲集などの動画を始め、ダイコンプレスのアーカイブ、チャリティーゴルフコンペの結果など同窓会主催の事業情報が掲載されています。

また、緑楊会を始め各クラブ活動OG会サイトへのリンクなどもあります。まだまだ新コンテンツも充実させていきますので、是非ご活用ください。



農大二高同窓会ウェブサイト <https://nounidoukoukai.gr.jp/>

### いつも農二生のそばにいる存在でありたい

購買部でパンを販売する瀧井めぐみさん(28期生)。高校時代は野球部マネージャーとして部活に明けくれ、1年の夏には甲子園出場を支えました。

縁あって8年前から母校へ。自由な校風は当時と変わりませんが、真面目な生徒が多いと感じているそうです。生徒や先生と気さくに接する瀧井さんは、「おばちゃん」「めぐみさん」と慕われ、元気のない生徒には積極的に声を掛けると「実は…」と悩みを打ち明けてくれるそうです。

自身が卒業する時、野球部顧問だった斎藤先生から「いつも心に夢を持って」という言葉をもらった瀧井さん。今の生徒にも夢を持って農大二高を卒業して欲しいと願い、何気ない会話を通して、少しでもお手伝いしたいとパンに心を込めているそうです。



# 農二トピックス

## 津久井萌さん(3年)が、第67回日本スポーツ賞受賞



ラグビー女子日本代表として2017年のワールドカップアイランド大会で活躍した津久井萌さんが、第67回日本スポーツ大賞の競技団体別最優秀賞(個人)を受賞しました。

昨年8月にアイランドで開催された女子ラグビーワールドカップに、2002年以来4大会ぶりとなる出場を果たし、男女を通じて最年少となる17歳で出場し、スクラムハーフとして5試合すべてに先発。さらに、日本女子として初めて世界のベストフィフティーンに選ばれました。

## 緑楊会賀詞交歓会で、安藤俊介さん(26期生)が講演



日本アンガーマネジメント協会代表理事の安藤俊介さんが、緑楊会の賀詞交歓会で「怒り」との付き合い方を語りました。

安藤さんは、怒りは身を守るために備わっている感情だと説明。人が腹を立てるのは、裏に隠れている思いを伝えたいからだとし、「相手の言いたいことに目を向けてほしい」と話しました。怒っても6秒間待てば理性的に行動できることや許容範囲は人それぞれであることも紹介しました。

## 周東佑京さん(50期生)がソフトバンク入団

昨年10月に行われたプロ野球ドラフト会議で、東農大北海道の周東佑京さん(50期生)が、ソフトバンクから育成2位で指名を受けました。まずは1年目から支配下登録を目指していくことになりますが、周東さんは50mを5秒7という脚の持ち主で、活躍が期待されます。



## 城戸口直樹先生、ぐんまマラソン10キロ連覇

陸上部で長距離を指導する城戸口直樹先生が、昨年11月に開催されたぐんまマラソンの10キロ男子で連覇を達成しました。

城戸口先生は日体大で箱根駅伝を走った経験もあり、指導者となって8年目です。



## 吹奏楽部OBのマーチングバンド「Takasaki Green Crest」結成



吹奏楽部OBを中心に結成されたマーチングチーム「Takasaki Green Crest」が、第23回西関東マーチングコンテストで金賞を受賞しました。また、高崎マーチングフェスティバルや

農大二高吹奏楽部定期演奏に出演するなど、高崎を拠点とした初の社会人バンドとして活躍の場を広げています。

## 平成29年3月 退職教職員

教諭	理科	磯田喜義	H3~H29	
	国語	清水敦子	H21~H29	非常勤S61~H2、H7~H21、嘱託H2~H7
	英語	松下知恵	H25~H29	
嘱託教諭	理科	入澤久夫	H7~H29	非常勤S60~H7
	数学	山本美和子	H25~H29	非常勤H24~H25
事務	事務部長	江森正己	H23~H29	
	事務	青木貞頼	H26~H29	東京農業大学厚木キャンパスへ異動

## 訃報

外処旭先生(美術)が昨年8月16日にご逝去されました。先生は昭和11年に生まれ、多摩美術大油絵科を卒業後、美術講師を経て、昭和38年より農大二高に勤務し、また、一水会や日展でも活躍されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 井野俊郎衆議院議員(34期生)が、3選果たす

昨年10月に実施された第48回衆議院議員選挙で、群馬2区の井野俊郎さん(34期生)が3度目の当選を果たしました。井野さんは、平成28年より法務大臣政務官兼内閣府大臣政務官に最年少で任命され、これからの活躍が期待されます。



## 伊藤薫先生が農大三高の副校長に就任



伊藤薫元教頭(13期生)が平成29年4月1日より、東京農業大学法人本部戦略室から東京農大三高の副校長に就任しました。伊藤先生が農大三高発展のためにご尽力されることを

期待したいと思います。

## 同窓生による芸術サークル「グループ窓」が作品展

昨年10月、「グループ窓」による作品展が高崎シティギャラリーで開催されました。会員20人が絵画、写真、刺繍など約50点を展示しました。また、顧問を務め昨年8月に亡くなった外処旭先生の油絵も展示されました。



# 第24回育英基金 チャリティーゴルフ大会

日時/平成29年11月3日

場所/サンコー72カントリークラブ

育英奨学基金チャリティーを目的に毎年開催されているゴルフコンペに、95名が参加しました。寄せられた195,000円の浄財は、在校生の学業継続支援のために活用されることになります。毎年、ゴルフを通じた同窓生の交流の機会として和やかに開催されていますので、ゴルフ初心者の方もお気軽にご参加ください。

【成績】男子優勝 高山祐一さん(11期生)  
女子優勝 羽毛田周子さん(17期生)  
団体優勝 18期



男子優勝の高山さん(左)



女子優勝の羽毛田さん(左)



団体優勝18期代表の大山さん



同じ場所、同じ時を過ごした仲間が集う  
リレー座談会

# 「あれから30年…」

25期生



入学前の農大二高のイメージ、または入学を決めた理由は？

.....  
藍原■野球、ラグビー、陸上が活躍していて、スポーツが盛んな高校というイメージ。中学時代に卓球で県大会に出たこともあって、スポーツ強豪校はあこがれだった。

櫻井■野球少年だったので、甲子園が一番近いと思って選んだ。

山田(仁)■中学時代に陸上の100mで県1位になった。ロス五輪に出場した不破弘樹さんはあこがれの存在で農二しか眼中になかった。

フォスター■スポーツが盛んでありながら、大学進学を視野に勉強に励む環境もある。文武両道なイメージがあった。

嶋田■中学の時、吹奏楽部の定期演奏会を観て、自分自身もあの舞台に立ちたいと思った。

関■競技スキーをやっていた。先輩の勧めもあったが、農二はスポーツに対して理解がある学校で、3年間競技に集中できるとして選んだ。

山田(彰)■兄の影響でラグビー部に入りたかった。

印象に残っている先生は？

.....  
藍原■ソフトテニス部顧問の柴田先生。入学当時、部員が足りないからと誘われた。気楽に始めてみたら、1年に363日は練習という猛烈な部だった。

櫻井■野球部顧問の斎藤先生。人生訓を厳しく叩き込んでもらい、その後の人生は楽でしかなかった。仲人もしていただいた。

貫井■授業で板書をしないので皆が真剣に耳を傾けていた地理の北爪先生。開始時間より前から授業を始める英語の清水先生。サングラスをかけ雰囲気は怖いですが、実は優しい体育の岸先生。

山田(仁)■陸上部顧問の鳥羽先生。厳しさ9、やさしさ1の怖い先生だったが、身体のことを気遣ってもらい、それが心にしみた。

フォスター■体育の福田明美先生。服装やヘアスタイルなどに洒落気を出すと、

大きな声でよく叱られた。  
長瀬■福田先生には、マラソンの時に「本気出せ！」と怒鳴られた。外処先生の絵が高額なことを知って驚いた。展覧会など行くようになったのも先生の影響があると思う。

嶋田■鎌塚先生。卒業後の進路のことで相談に乗ってくださり、的確なアドバイスをいただいた。

関■担任の佐藤先生。長期合宿で学校を休みがちだったが、常に味方になってくださった。

山田(彰)■われらが「ボス」の伊藤先生。1回り上の兄貴という存在だった。生徒を乗せるのが上手く、漢字テストなど「クラス対抗で一番取ろうぜ！」という雰囲気を作ってくれた。

学校や部活を通しての思い出は？

.....  
藍原■年間でお盆と大晦日しか部活を休まないソフトテニス部にあって、学校に通うというより部活に行くという日々。同期の男子6人・女子9人の結束は固く、今もしっかり続いている。男子はインターハイ予選3連覇を果たし、女子はインドア関東大会優勝という成績を残すことができた。

櫻井■心残りは、一度も甲子園に行けなかったこと。信越線の始発と終電で通学する日々。あの時代を乗り越えたことが、その後の人生で大きな自信になった。

貫井■中庭で応援団の演舞を初めて見て衝撃を受け、そのまま入団。人が全ての団なので、勉強もしっかりやった。花園、都大路での応援もできた有意義な高校生活だった。

山田(仁)■苗場の夏合宿は辛かったが、不破さんが登場するというサプライズに感激した。部活では怪我が多くて成績につながらなかったが、その経験が接骨院という仕事につながっている。

嶋田■始発で登校し朝練、昼練、部活が終わって帰るのは終電という日々。ロングトーンをひたすらやっていた。部でマーチングを始めた最初の年で、演奏しながら歩くだけでも大変だった。

関■夏はニュージーランド、11月になるとオーストラリアの1か月くらいの合宿で学校に行けなかったが、その間のノートをクラスメイトが取ってくれて、どうにか授業についていった。



出席者  
(写真左上より)

藍原康雄/ソフトテニス部  
嶋田有美子(旧姓 石野)/吹奏楽部  
山田仁/陸上部

櫻井祐貴/野球部  
長瀬亜子(旧姓 徳田)/空手道部  
フォスター博美(旧姓 高木)

貫井健太郎/応援団 団長  
関由布子(旧姓 林)/スキー部  
山田彰/ラグビー部

山田(彰)■3年間ラグビーだけやっていた(笑)38年ぶりに国体5位になり、慢心があったのか初のAシードで出場した花園では初戦の2回戦で負けてしまった。

当時の流行、ファッション、世の中の出来事、事件など印象に残っていることは？

.....  
貫井■BOØWYやTMネットワークをよく聴いていた。バンドブームでバンドを組んでいた友達も多く、前橋や高崎のライブハウスによく見に行った。

山田(仁)■部活で疲れていても、眠い目をこすってファミコン、ドラクエをよくやった。攻略本がなかったので、友達ともよく情報交換をした。

長瀬■女子クラスの机の上には必ず鏡があって、髪の毛をいじっていた。教室には漫画もあった。紡木たくの「ホットロード」は皆が読んでいた。

嶋田■DCブランドが流行っていて、制服の下に着ていた。ロングヘアの女子はリボンを着けていた。

関■高3の冬、昭和から平成に変わった。

友人は1月10日のインターハイ予選の選手宣誓で「昭和64年」と間違えてしまった。

改めて農大二高という学校の印象は？  
25期生はどんな学年でしたか？

.....  
藍原■宝物のような仲間を得られた自慢の学年。

櫻井■農大二高愛に燃えた同窓生が多い。私自身も長女が進学し吹奏楽部で活動し、私は保護者会役員として学校に関

わった。  
山田(仁)■文武両道。

嶋田■夢を語れる環境があった。卒業してアメリカへ行ったが、先生や友人が真剣に相談に乗ってくれたから。

貫井■3年の二高祭で女子クラスと洋風喫茶を運営したときに、皆が自主的に役割を決め、動いていたのを見て、団結力の素晴らしさに感動した。自由な校風で、個性が強くて楽しい良き仲間恵まれた。青春を謳歌し心から愛せる母校。



期別会、OB・OG会の活動情報

# タテヨコ

- |        |       |             |
|--------|-------|-------------|
| ■首都圏支部 | ■21期会 | ■ラグビー部OB会   |
| ■3期会   | ■26期会 | ■ソフトテニス部OB会 |
| ■8期会   | ■43期会 | ■野球部OB会     |
| ■11期会  | ■46期会 | ■吹奏楽部OB会    |

## 首都圏支部

支部長 ■ 吉田 茂夫 (2期生)



3年に一度の総会を、昨年6月24日に銀座京橋モルチエにて開催しました。当日は首都圏在住者と同窓会本部役員60人で和やかに行われました。総会では新支部長に吉田茂夫氏が選出されました。

東京、埼玉、神奈川、千葉に在住に同窓生のネットワークとして、充実した活動に取り組んでいきますので、年齢関係なく是非ご参加ください。

## 3期会

会長 ■ 神宮 直仁

70歳を迎える今年、3期会を開催いたします。開催時期は10月下旬を予定しています。前回は51名が集まり、40年ぶりの再会に大いに盛り上がりしました。詳細が決まりましたら、会員の皆様にお知らせいたしますので、是非奮ってご参加ください。

●連絡先/神宮直仁 TEL: 090-8847-8036

## 8期会

会長 ■ 春山 一成



昨年3月11日、ホテルメトロポリタン高崎で同窓生59名と来賓をお迎えして3年振りに8期会総会・懇親会を開催しました。懇親会では、同窓会Tシャツの抽選会なども行い、それぞれ旧交を深めました。卒業からのお互いの近況や思い出に話が花が咲き、多くの方が2次会に出席されて一層の懇親を深めることができました。

次回は3年後に再会することを約束し散会しました。

## 11期会

会長 ■ 高井 和雄



第5回11期会が昨年9月16日(土)ホテルメトロポリタン高崎にて、村校長先生、清水同窓会長、恩師をお招きして約80名の参加で開催されました。開催ごとに参加者は減ってきていますが、今回は3年後の東京オリンピックの年に再会を誓い散会しました。

## 21期会

会長 ■ 中村 丙午

21期会(昭和60年卒)は、2019年に第2回同窓会を予定しております。前回(2015年)は、83名の仲間に出席していただきました。次回はさらに大勢の同窓生で楽しみたいと思います。詳細は改めてご連絡致します。

●連絡先/代表幹事 須藤正光 TEL: 080-1339-3217

## 26期会

会長 ■ 北形 信也



6月10日(土)高崎ビューホテルにおいて、第2回26期会を開催いたしました。当日は同窓生・恩師あわせて82名が参加しました。遠い昔の?忘れていた事を思いだし、久しぶりの再会に盛り上がり、わずかな時間だったけれど現役農二生に戻る事ができました!

Facebookのグループページもあります。⇒「農大二高26期会」で検索!

●連絡先/大河原隆行 TEL: 090-1852-0867

## 43期会

幹事 ■ 諏佐 和也



昨年8月12日(土)、メトロポリタン高崎にて第1回43期会を開催しました。先生方を含め74名が集まり、楽しい時間を過ごしました。同窓会本部をはじめ、多くの皆様のご協力いただき、大変感謝しています。次回は、35歳になる2023年で、その後は5年毎の開催を予定していますので、お楽しみに!

## 46期会

会長 ■ 落合 哲郎

平成30年度中に開催します。将来を考えての連絡方法も作ります。卒業時の連絡先を元に全員に連絡を試みますが、どれくらい繋がるでしょうか?“今”だからこそ会ったら楽しいこともあるはず!事前、当日の準備を一緒にやってくれる方も募集しています。お気軽にご連絡ください!!

●詳細: Facebook「農大二高同窓会46期会」

●連絡先/落合哲郎(平成3年生まれ)

TEL: 080-6521-1367又はFacebook等にて

## ラグビー部OB会

会長 ■ 小野里 芳弘 (20期生)



3月10日(土)ホテルメトロポリタン高崎にて総会・懇親会(31期が学年幹事)を開催します。総会では、役員改選の審議・承認もいただきます。

昨年は7人制全国大会に初出場。また仮田洋翔(53期)がU20日本代表に選出されウエルグアイ遠征、清水麻有(52期)、津久井萌(54期)が女子ラグビーW杯アイルランド大会に日本代表として全試合先発出場するなど明るい話題が続きました。

OB会は、引き続き現役生のサポートを全力でやっていきます!捲土重来。

## ソフトテニス部OB会

会長 ■ 佐藤 喜芳 (20期生)



日頃より、会の活動にご協力を頂きまして誠に有難うございます。

平成30年度OBOG会総会及び懇親会を、2月3日(土)メトロポリタン高崎におきまして開催いたしました。OBOG会顧問の柴田先生、男子部顧問の向井先生の出席をいただき、有意義な時間を過ごすことができました。

これからも、会発展のため努力してまいりますので、ご支援ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

## 野球部OB会

会長 ■ 大島和幸 (14期生)



野球部OB会の総会が、1月13日高崎ホワイトインにて約80名の参加で行われました。総会後の懇親会には、約120人が出席、今年は大学生OBも多数参加して大変盛り上がりしました。OB会は今年も現役生の応援と会員相互の親睦を深めていきます。

また、昨年7月30日には斎藤章元監督と共に、日航ジャンボ機墜落事故の慰霊施設「慰霊の園」を訪れ、事故で亡くなった当時部員の父竹下元章さんを慰霊しました。

## 吹奏楽部OB会

会長 ■ 橋島 道雄 (1期生)

吹奏楽部OB会では、毎年恒例のOBと現役生合同による演奏会を開催します。

今年は例年と違い、5月4日(みどりの日)に開催しますので、お間違えのないよう、ご来場ください。

本番へ向けての練習も開始しておりますので、出演希望の吹奏楽部OBの皆様、お気軽にお問合せください。

■スプリング・ポピュラー・コンサート 2018  
日時/平成30年 5月4日(祝) みどりの日 午後2時開演  
会場/群馬音楽センター  
入場料/500円

●連絡先/神澤直紀(22期生) 神澤こずえ(22期生)

TEL: 080-4336-0858

さまざまな場所・分野で活躍する同窓生をご紹介します

# 同窓生を訪ねて



羽鳥義雄さん (9期生)  
関東西濃運輸株式会社 代表取締役社長

## 豊富な現場経験をもとに 輸送業界の働き方改革に挑む

トラックによる長距離輸送で日本の物流を支えるセイノー輸送グループ。その一員として、北関東を中心に20の拠点を設け全国ネットの一翼を担う、関東西濃運輸の社長・羽鳥さん。23歳で事務職として入社したが「配属されたのは小さな営業所で、集金から経理、営業、配車とひと通りの業務をこなした」。その経験から、常に現場主義を忘れない。座右の銘は『有言実行』。人材不足に苦む輸送業界を立て直すべく、かつての現場経験

をもとに作業効率向上に向けた労働環境の整備に力を入れる。目標は、「グループ中でもトップレベルの『働き方改革』」だ。農二時代には、持ち前のリーダーシップを発揮して、生徒会役員や学級委員長などを務めた。「人の上に立つ経験が、今に役立っている」と話す。部活動は軟式野球部だったことから、同社の軟式野球部の指導にも熱が入り、過去には県内3タイトル優勝に輝いたことも。今年こそはと、全タイトルの奪還を目指す。



植原佳彦さん (11期生)  
一般社団法人 高崎観光協会 専務理事

## 実直な仕事で地元・高崎に長年貢献

高崎市の観光情報の発信や、イベントの開催、市外・県外に向けたPRなど、さまざまな観光事業に携わる植原さん。昨年は高崎OPAが開業し、1階『高崎じまん』、7階『開運たかさき食堂本店』の運営を通じて、市外・県外に自慢したい名産品のPRに奮闘している。元々は市役所の中でも環境分野の現場が主体だったという植原さん。農二では理数科に、大学では化学を専攻し、地元群馬にUターンしてからは理系出身を生かして水質管理施設

で水質分析や環境行政を専門に、30年ほど勤めてきた。しかし転機が訪れ、総務部の広報広聴課、職員課を経て部長に昇進。「現場から事務へ。全く異なる分野に初めは戸惑った」と話す。実直に仕事をこなし、昨年3月に定年を迎え再任用で現職に就いた。今は2020年の東京オリンピックに向けた観光客誘致がメイン。「都内まで電車で最短50分という利便性を核に、国内外から観光客を呼び込みたい」と意気込む。



黛紀昭さん (25期生)  
有限会社 妙義ナバファーム 代表取締役

## 『東京農大経営者フォーラム2017』において経営者大賞を受賞

黛さんが代表を務めるナバファームでは、安心安全をモットーとした菌床によるシタケ、マイタケ、キクラゲの生産を行っている。群馬県はかつて原木シタケの生産が盛んだったが、近年は全国的にも菌床シタケが主流となっている。同社ではそんな時代の流れを先読みして早期から菌床を導入し、大手スーパーとの直接販売に結び付けてきた。生産規模は徐々に拡大し、今年年間生産量が1350トンと、県内の約34%を誇る。また、「全国的に品種も栽培方法も転換期にきている。

ここで技術を確立して他社との競争で一步先へ」と、これまで菌床は外部から仕入れていたが、施設を拡大し昨年から全て自社栽培に切り替えた。こうした取り組みが評価され、『東京農大経営者フォーラム2017』においては経営者大賞を受賞している。次なる目標は、東京オリンピックに向けた国際食材の供給要件となる認証の取得。目標を掲げることで、「従業員の農業に対する誇りになれば嬉しい」と意気込む。



鈴木学さん (26期生)  
ミズノ株式会社 コンペティションスポーツ事業部 事業販促部 陸上競技課 課長

## ドラマ『陸王』のシューズ制作に携わる

陸上部出身という経験を生かして、「選手のサポートという形でスポーツに関わり続けたい」と志し、スポーツメーカー『ミズノ』に就職した鈴木さん。現在は、陸上競技を専門とする課で、国内のトップ選手やチームに同社の商品を着用してもらい一般のユーザーの購入を促す、プロモーション活動を中心に行っている。昨年はドラマ『陸王』で描かれたシューズの制作プロジェクトにも携わり、靴職人と制作サイドの橋渡しとして奮闘する1年となった。

鈴木さんが陸上と出会ったのは農二時代。元々運動はしていなかったが、顧問の鳥羽完司先生の奥様が中学での担任ということから誘いを受け、練習に明け暮れる3年間を過ごした。その日々が卒業後の進路に繋がり、恩師との再会をきっかけに今では農二陸上部のウェアやシューズを同社が担当している。一生ものの出会いをくれた母校について鈴木さんは「今後もしっかりサポートしていきたい」と熱く思いを語った。



茂田正和さん (33期生)  
日東電化工業株式会社 常務取締役

## 皮膚科学に基づく安全な化粧品 高崎から世界へ

自動車部品のメッキ加工が主たる事業の日東電化工業。同社が手がける化粧品が注目を浴びている。茂田さんが牽引する同社のヘルスケア事業部は2004年に誕生。温泉ミネラルの研究から生まれた基礎化粧品『nesno』の発表を皮切りに、『iho』、『OSAJI』など全6ブランドを展開している。ユーザーと直に触れ合うための直営店の設置も順調で、昨年までに県内と都内で8店舗をオープンさせている。茂田さんが化粧品開発に乗り出したきっかけ

は、肌トラブルに悩まされていた母親の存在。「困っている人のためのモノを作りたい」その一心で、独学で皮膚科学を研究しながら自宅のキッチンで開発に取り組んだ。昔も今も、その素直な思いが茂田さんの原動力だ。いずれのブランドも「生涯使い続けて安全なもの」がコンセプト。一時的な使い心地の良さよりも、将来的な安全性を重視する。この「本質的なモノづくり」を信念に、今後は海外への進出にも挑戦していく。



枝優花さん (48期生)  
映画監督、写真家

## 弱冠23歳にして初の長編映画で監督デビュー 今後の活躍に期待

「20代にしかない感性があるうちに長編を撮れ、という周囲の言葉に後押しされて」23歳という若さで挑んだ初長編映画『少女邂逅』の撮影に踏み切った理由を、監督の枝優花さんはこう語る。14歳の時の実体験を元にしたという同作。クラウドファンディングにより資金を募り、昨年の5月に母校をはじめとする地元・高崎市内でロケが行われた。引っ込み思案だった幼少期、「なかなか友達ができない寂しさを消してくれたのが映画だっ

た」と枝さんは話す。また、人間関係に悩んだ多感な時期も「ある映画に出会い救われた」と映画への思いを語る。常に映画と寄り添いながら生きていく中でいつしか映画監督を志し、大学時代にはさまざまな撮影現場に参加して撮影、編集、助監督、演技などのあらゆる分野で知識や技術、人脈を培ってきた。『少女邂逅』はこの夏いよいよ、シネマテーク高崎など全国の映画館で上映がスタート。2018年、監督として劇場デビューを果たす。

## 同窓生のお店・会社紹介

welcome to my shop

### フレンチ食堂 エッグチキン



関口務さん (6期生)  
高崎市宮元町229 大手前ハイツ2階  
TEL:090-3247-1315

スズラン高崎店の向かいに、安くておいしいと評判の昔ながらの洋食レストランがある。店を切り盛りするのは、都内の一流ホテルで15年ほど腕を磨いたオーナーシェフの関口さん。40歳で帰郷し、「子供からお年寄りまで楽しめる料理で人の幸せに尽くしたい」と開業した。メニューはオムライス、カレー、スパゲッティなど20種類以上。中でも人気は、オムライスの早作り選手権で優勝経験のあるシェフ自慢の『和風オムライス』。

### 株式会社 泰山



井上智太さん (20期生)  
高崎市片岡町3-1-20  
TEL:027-327-2366

漆器の専門店として昭和57年に、旧佐波郡境町で先代が創業。現在は茶道具一式を中心に漆器、印傳(いんでん)の3本柱で構成している。農大卒業後、家業を継いだ智太さん。漆塗りの茶器をきっかけに茶道を始めて30年、今では先生の顔も持つ。「お抹茶のおいしさを知ってほしい」そんな思いから、来店するお客様を抹茶と季節の和菓子でもてなす。その心がお客様との距離を縮め、再訪・販売に繋がっている。

### 有限会社 海老善



町田純さん (30期生)  
佐波郡玉村町板井字一本木1251-1  
TEL:0270-64-0600

高崎玉村スマートIC近くの田園地帯に社屋を構える『海老善』は、海老を中心に海産物の卸売業を営む。魅力は、豊富なアイテム数と顧客の細かな要望にも柔軟に応える対応力。「海産物を通して県内で必要とされる存在に」とコンセプトを掲げる。2代目を継ぐ純さんは、昨年7月から新たに加工業をスタートした。骨抜きを切り身は、病院や介護施設などから大好評だ。今後は、「惣菜類や一次加工品の製造にも挑戦したい」と話す。

### 茶フェ ちゃきち



吉田快さん (34期生)  
富岡市一ノ宮264  
TEL:0274-63-4017

上信電鉄「一ノ宮駅」の近くに佇む、日本茶専門店の吉田園が営む和カフェ。「日本茶の魅力若い世代にも伝えたい」という思いから、2代目の快さんがオープンした。築54年の古民家を改装したレトロな雰囲気の内装で味わえるのは、抹茶やほうじ茶、玄米茶などのお茶を用いた甘味が中心。オススメは6段階の濃さから選べる抹茶ジェラートで、独特の渋みや苦みが堪能できる。食べ比べに最適な「利きジェラート5点盛り」も必見。

# 教職員を応援しよう

## 寄稿1 教諭 間々田 功先生



4月に農大二高に着任しました。現在、3年1組担任、進学主任、弓道部顧問を拝任しております。同窓会の皆様にはどうぞよろしくお願い申し上げます。

今回は貴重な紙面をいただきありがとうございます。せっかくですので、くだけた話題は宴席等の機会に譲り、堅苦しいとのご批判も覚悟のうえで、縁(えん)という言葉にかけて、思うことを書き留めさせていただきたいと思います。私の教員人生には、こと農大二高には多くの縁があったようです。部活動の交流を通じてお付き合いさせていただくようになった先生方が何人かいます。大会や練習会の運営を進めるため、若い頃は幾晩も議論を重ねたりしました。のちに机を並べて仕事するようになるとは、その当時は思いもしませんでした。

また、長女と次女が二高の卒業生ですが、二人の友人関係などを通して保護者同士の交流も生まれ、継続しています。次女は弓道部だったので、活動を応援しながら知った部の流れやしきたりなど、顧問となってみて、ずいぶんと役立っています。その弓道も始めたのは20歳代の後半、たまたま弓道部の顧問に空きができたのがきっかけでした。指導できるようになるまで頑張ってみてよかったですと思っています。お世話になった長女の担任の先生は残念なことに昨年亡くられました。面談や学校行事には父親の私も極力同席していたので、大変驚きました。まもなく年齢が近く、同じ地歴科ということで私の奉職の話が持ち上がったとのことでした。

この仏教用語は、そのときどきの生業(なりわい)は自分の意思を超越してめぐってくるという意味だそうです。だとすれば、なにより生徒にとっての意味ある縁者になれるよう、進路指導、授業づくり、部活指導に精一杯の努力を続けたいと思っています。



## 寄稿2 事務部 部長 大澤 久さん



### 校歌を歌う喜び

農大二高に着任して早いもので1年が経とうとしています。私たち事務職員は俗に言う転勤商売、理事長の命を受け法人本部の部署や設置校間を異動します。私は30歳で民間企業から転職したのですが、法人本部、農大、情報大、私大連盟(出向)、一高・一中、三高・三中を経て本校に参りました。これで設置校の全てに勤務した唯一の職員となります。

設置校にはそれぞれ校歌(学歌)があり、入学式や卒業式等の行事で斉唱するのはどの学校も同じです。着任式の挨拶で生徒の皆さんにお話したのですが、私は以前から本校の校歌が歌えます。理由は大きく二つあります。一つは東京から妻の実家がある深谷市へ転居して、時間を見つけては本校野球部の試合を見に行っていた時期があり、校歌を聴く機会が何度もありました(公民の井野先生の現役時代です)。もう一つは皆さんと意見が一致するところだと思いますが、歌詞と旋律の良さです。一度聴いただけで心に響く素晴らしい校歌だと思います。

本校の生徒や同窓生の皆さんには信じられないかも知れませんが、近ごろでは校歌(学歌)が歌えない生徒(学生)や卒業生が増えています。学校への帰属感や連帯感の喪失であり悲しい限りですが、本校に限っては全くの杞憂であることが良くわかりました。

学校行事や関係諸団体の行事、そしてスポーツ応援の度に、活気溢れる農大二高の一員となり、共に校歌を歌える喜びを感じております。末永く誇りある母校であるよう努力致しますので、同窓生の皆様におかれましては今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 現役生の活躍

### 応援団



毎年10月に開催される高校応援コンクールで、6年連続での優勝に輝いている応援団。チームをまとめる団長の戸塚千晶さん(2年)

は、オープンスクールで部活動見学をした際に、「当時の女性団長に憧れて」入団を決めたという。来年度もコンクールでの連覇を目指し、「迫力ある演技はもちろん、日々の挨拶や声の大きさなど基本を大切に、後輩たちを指導していきたい」と頼もしい先輩の顔を見せる。

### 新聞部



学内でのイベントから時事問題まで、幅広い内容を取り上げる「農大二高新聞」を発行する新聞部。去年は、高崎市に誕生した新施設を特集し、上毛新聞主催の群馬県高等学校新聞コンクールで校長協会長賞を受賞した。現在は、3月に発行を控える

新刊を制作中。今回は1年間の出来事を凝縮させ、紙面も4面から6面に拡大しての発行となる。部長の田村一真さん(2年)は「一人でも多くの方に楽しんでもらえるよう、おもしろい記事を書きたい」と気合いを見せる。

### 水泳部



去年は、インターハイ200m背泳ぎで見事3位入賞を果たし、「課題だったバサロキック特訓の成果があり、目標を達成できて嬉しい」と一

年を振り返る。また、国体200m背泳ぎ2位、JOCジュニアオリンピック100m背泳ぎ2位と、他にも多数の好成績を取めた。今年は「ジュニアパンパシフィック日本代表入りを目指して、4月の日本選手権を勝ち抜きたい」と新たな目標を設定。今後の活躍に更に期待が集まる。

### 陸上部



今年の南東北インターハイ、400mHで史上2人目の2連覇を達成した白尾悠祐さん(3年)。続くえひめ国体でも見事優勝し、1シーズン2冠を達成した。去年は6月に高校歴代9位となる50秒36を出しており、圧倒的な強さを見せた。卒業後は順大に進学。恩師である斎藤嘉彦監督が持つ48秒68という学生歴代5位を超える活躍を期待したい。

走り幅跳びの津藤広夢さん(2年)は、昨年11月に名古屋で開催されたU18日本選手権に出場し、7m44で優勝した。前月のえひめ国体でも2位になっており、大きく成長した1年となった。今年はU20世界選手権出場とインターハイ優勝を目指す勝負の年にするのを誓う。

## 総合結果

- 陸上競技部
  - 第32回日本ジュニア陸上競技選手権大会クロスカントリー競走 兼 第42回IAAF世界クロスカントリー選手権 日本代表選考競技大会 第4位 千明龍之佑/ジュニア男子8km 団体 第2位
  - 関東高校陸上競技大会
    - 北関東男子総合 優勝
    - 北関東男子5000m 第3位 千明龍之佑 第5位 栗原啓吾
    - 北関東男子4×400mR 第2位 田村健・久保塚高志・田村隆典・白尾悠祐
    - 北関東男子4×100mR 第2位 恩田颯人・戸塚諒・久保塚高志・内藤宇樹
    - 北関東男子400m 第2位 白尾悠祐
    - 北関東男子400mH 第1位 白尾悠祐 第3位 田村隆典
    - 北関東男子3000mSC 第6位 宮下璃久
    - 北関東男子走幅跳 第1位 津藤広夢
  - 全国高等学校総合体育大会
    - 男子400mH 第1位 白尾悠祐
    - 男子走幅跳 第4位 津藤広夢
    - 男子5000m 第8位 千明龍之佑
  - 第72回国民体育大会
    - 少年男子A 400mH 第1位 白尾悠祐
    - 少年男子A 走幅跳 第2位 津藤広夢
    - 少年男子A 5000m 第8位 千明龍之佑
  - 第70回群馬県高等学校対抗陸上競技大会
    - 男子1部 400mH 第1位 白尾悠祐
    - 男子1部 4×400m 第1位 白尾悠祐・田村隆典・久保塚高志・田村健
    - 男子1部 走幅跳 第1位 津藤広夢
  - 群馬県高等学校陸上競技大会
    - 女子1年の部 400mH 第1位 平澤絵美
    - 男子2・3年の部 110mH 第1位 東唯斗
    - 男子共通の部 4×100m 第1位 金井太陽・恩田颯人・内藤宇樹・津藤広夢
  - 群馬県高等学校新人陸上競技大会
    - 男子100m 第1位 恩田颯人
    - 男子200m 第1位 恩田颯人
    - 男子4×100m 第1位 金井太陽・恩田颯人・内藤宇樹・津藤広夢
    - 男子走幅跳 第1位 津藤広夢
  - 第11回U18日本陸上競技選手権大会
    - 男子U18走幅跳 第1位 津藤広夢
  - 第52回群馬県高等学校総合体育大会
    - 男子駅伝競走 優勝
  - 第70回関東高等学校駅伝競走大会
    - 男子総合 第4位/3区区間賞 千明龍之佑
  - 第68回全国高等学校駅伝競走大会
    - 男子 34位
- 水泳部
  - 群馬県高校選手権水泳競技大会
    - 女子100m背泳ぎ 第1位 関口真穂
    - 女子200m背泳ぎ 第1位 関口真穂
  - 関東高等学校水泳競技大会
    - 競泳女子 100m背泳ぎ 第1位 関口真穂
    - 競泳女子 200m背泳ぎ 第2位 関口真穂
  - 第52回群馬県高等学校総合体育大会
    - 女子100m背泳ぎ 第1位 関口真穂
    - 女子200m背泳ぎ 第1位 関口真穂
  - 全国高等学校総合体育大会 第85回日本高等学校水泳競技選手権大会
    - 女子200m背泳ぎ 第3位 関口真穂
  - 第72回国民体育大会
    - 水泳少年A 競泳女子200m背泳ぎ 第2位 関口真穂
  - 山岳部
    - 第72回国民体育大会群馬県予選
      - 少年女子 第1位 藤崎七海
    - 第12回群馬県高等学校クライミング選手権大会 女子リード 優勝 藤崎七海
  - 吹奏楽部
    - 第15回ジュニア打楽器アンサンブルコンクール全国大会 最優秀賞
    - 2017関東カラーガードコンテスト 金賞
    - 第59回群馬県吹奏楽コンクール 高等学校Aの部 金賞
    - 第29回群馬県マーチングコンテスト Aの部 金賞/Bの部 金賞
    - 第23回西関東吹奏楽コンクール 高校Aの部 銀賞
    - 第23回西関東マーチングコンテスト 高校以上Aの部 金賞/Bの部 金賞
    - 第34回群馬県マーチングバンド・パントワーリングフェスティバル 高等学校の部 金賞
    - 第52回マーチングバンド関東大会 高校大編成 金賞
    - 第30回全日本マーチングコンテスト 高校以上Aの部 銀賞
    - 第45回マーチングバンド全国大会 高校大編成 銀賞
    - 第9回群馬県西部地区アンサンブルコンテスト 高校の部 打楽器八重奏 金賞
    - 第41回群馬県アンサンブルコンテスト 高校の部 打楽器八重奏 金賞
  - ラグビー部
    - アシックスカップ2017第4回全国高校7人制ラグビーフットボール大会 ボウルトーナメント準優勝
    - 女子ワールドカップ2017アイルランド大会 ベストフィフティーン(No.9 SH) 津久井萌
    - 群馬県高等学校ラグビーフットボール1年生大会 優勝
  - 百人一首
    - 第39回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 A級 第4位 齋藤玄志
    - 第41回全国高等学校総合文化祭 小倉百人一首かるた部門 優良賞 齋藤玄志・齋藤里音
  - 書道
    - 第71回群馬教育書道展 半紙の部 産経新聞社賞 下田美沙樹
  - 応援団
    - 第6回高校応援コンクール 優勝
  - 新聞部
    - 第31回群馬県高校新聞コンクール 群馬県高等学校協会会長賞
  - 演劇部
    - 高校芸術祭 演劇部門 西北毛地区大会 優良賞
  - エアロビック
    - 第34回全日本総合エアロビック選手権大会 シニアグループ部門 優勝 増田りさこ/シニア1トリオ部門 2位 増田りさこ
  - 美術部
    - 第41回群馬県高等学校芸術祭 美術・工芸部門展 奨励賞 中嶋夕衣佳

平成28年度 決算書

自平成28年4月1日  
至平成29年3月31日

一般会計

収入の部	金額	支出の部	金額
入会金	5,320,000	総会費	1,434,616
年会費	1,792,910	会議費	317,148
預金利息収入	32	事業費	8,009,752
雑収入	1,672,456	事務費	86,659
特別会計より繰入	5,742,772	印刷費	0
総会費	1,274,000	広報費	27,000
前年度繰越金	3,478,722	慶弔費	127,580
		雑費	0
		予備費	0
		全国大会出場激励費	270,000
		特別会計へ繰出	0
		クラブ活動基金へ繰出	1,000,000
		育英奨学基金へ繰出	0
		次年度繰越金	8,008,137
合計	19,280,892	合計	19,280,892

クラブ活動基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,000,000	二高特別活動振興基金	1,000,000
育英奨学基金特別会計より繰入	0	次年度繰越金	4,070,728
預金利息収入	645		
前年度繰越金	4,070,083		
合計	5,070,728	合計	5,070,728

育英奨学基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	0	奨学金	181,620
寄付金収入	265,000	クラブ活動基金特別会計へ繰出	0
預金利息収入	131	次年度繰越金	8,137,198
前年度繰越金	8,053,687		
合計	8,318,818	合計	8,318,818

平成29年度 予算書

自平成29年4月1日  
至平成30年3月31日

一般会計

収入の部	金額	支出の部	金額
入会金	5,000,000	総会費	0
年会費	1,700,000	会議費	300,000
預金利息収入	100	事業費	5,000,000
雑収入	200,000	事務費	90,000
特別会計より繰入	0	印刷費	50,000
総会費	0	広報費	100,000
前年度繰越金	8,008,137	慶弔費	100,000
		予備費	500,000
		全国大会出場激励費	300,000
		特別会計へ繰出	4,000,000
		クラブ活動基金へ繰出	1,000,000
		育英奨学基金へ繰出	500,000
		次年度繰越金	2,968,237
合計	14,908,237	合計	14,908,237

クラブ活動基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,000,000	二高特別活動振興基金	1,000,000
預金利息収入	1,000	次年度繰越金	4,071,728
前年度繰越金	4,070,728		
合計	5,071,728	合計	5,071,728

育英奨学基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	500,000	奨学金	1,000,000
寄付金収入	200,000	次年度繰越金	7,839,198
預金利息収入	2,000		
前年度繰越金	8,137,198		
合計	8,839,198	合計	8,839,198

事務局だより

【重要】前回連絡いたしました通り会費納入頂いた方のみにお送りしています。

農大二高同窓生の活躍や母校の様子をお伝えしている本誌は、同窓生からのお振込みいただく会費を制作原資としています。卒業生が3万4千人を越える大所帯となり印刷費だけでなく郵送料の事も考え、前回連絡いたしました通り会費納入頂いた同窓生だけの配布といたしました。

この同窓会誌を見られない同窓生には、同窓会ホームページで今までの広報誌全てを公開いたしますので、ホームページを見て頂くこととなります。但し、農大二高在校生と卒業後5年間に限り、無条件で配布・送付したいと思います。

同窓生のコミュニケーション紙として大きな役割を担っている本誌の発行継続のため、会費納入の継続・協力とご理解を宜しくお願いいたします。

同窓会長 清水 洋

●同窓会ホームページ

農大二高同窓会

検索

●広報委員会メールアドレス kouhou@nounidousoukai.gr.jp

●Facebook

東京農業大学第二高等学校 同窓会

検索

会費納入のお願い

同窓会の運営にご協力ください。

この会費は、同窓会の運営のほか、現役生へのクラブ活動や学業支援に活用されています。

①ゆうちょ銀行

同封の払込用紙でゆうちょ銀行窓口よりお振り込みください。

②銀行

下記口座へお振り込みください。尚、手数料が必要となります。

金融機関 支店名：群馬銀行 高崎支店

科目 口座番号：普通 1493175

口座名義：ノウダイニコウドウソウカイ

会費：一口 2,000円

編集後記

だいこんプレスの編集に携わって2年になりました。毎年10月頃から月に1回程度農大二高に来ることも初めは懐かしさを感じていましたが、だんだんと慣れてきました。

編集者会議では卒業生、在校生がどんな活躍をしているのか和気藹々と話をして、色々な方面で活躍していることを

知り自分も農大二高の卒業生でよかったなと感じています。

最後になりますが、今年度も皆様からのご協力をいただき、無事にだいこんプレスを発行することができました。ご協力・ご支援頂いた皆様に深く感謝いたします。今後ともだいこんプレスをよろしく願っています。(46期・奥田直人)